

取り付け方法

◎スマートフォン側の準備(金属プレート取り付け)

○スマートフォンカバー(手帳型含む)をご使用の場合

※本製品の吸着力を最大限発揮するため、四角形状の金属プレート使用を推奨します。



ご使用のスマートフォンからカバーを外します。

付属の金属プレートに貼ってある青色の保護シートと、金属プレート裏の両面テープのはくり紙をはがし、ご使用のスマートフォンカバー裏面に貼付けます。※1

手帳型スマートフォンカバーで、汎用タイプやスマートフォンが可動するタイプの場合、可動部分の上から金属プレートを貼付けます。※2

手帳型スマートフォンカバー裏面が折りたためるタイプの場合、折り曲げた裏面に金属プレートを貼付けてご使用いただくことも可能です。※金属プレートはカバーの中心に貼付けられない場合があります。

手帳型スマートフォンカバーで、カード入れがあるタイプの場合、カード入れの部分に金属プレートを貼付けてご使用いただくことも可能です。※3

傷防止のため、金属プレートの上から付属の透明保護シールを貼り付けます。

ご使用のスマートフォンにスマートフォンカバーを付けてください。

◎スマートフォンカバーをご使用でない場合、またはスマートフォンカバーの背面に直接貼付ける場合

※四角形状の金属プレートをご使用の場合、吸着力が強いいため脱着に不具合が生じる場合があります。丸形状の金属プレートのご使用を推奨します。



スマートフォンやスマートフォンカバーの傷防止のため、金属プレート貼り付け位置に透明保護シールを貼付けます。※4

金属プレート裏の両面テープのはくり紙をはがし透明保護シールの上へ金属プレートを貼付けます。※1

●透明保護シールや金属プレートをスマートフォンやスマートフォンカバーから剥がした際、スマートフォンやスマートフォンカバー表面に、透明保護シールや両面テープの跡や接着剤が残る恐れ、塗装・コーティングが剥がれる恐れがありますのでご注意ください。

- ※1 金属プレート使用時はスマートフォンのワイヤレス充電の機能をご使用できません。また、電子決済機能やNFC等のご使用に影響をおよぼす恐れがありますので、スマートフォンの近接センサー上への金属プレートの貼付けはおやめください。
- ※2 金属プレート貼付け面からスマートフォンカバー表面までの厚みが4mm以内であることを確認してください。4mm以上ある場合、吸着力が不足するためご使用になれません。
- ※3 磁気カードやICカード等をスマートフォンカバーに収納されている場合、磁気や金属プレートの影響で動作不良や記憶内容の破損・消滅、誤作動を起こす恐れがありますので、別の場所へ収納してください。
- ※4 スマートフォンの表面に凹凸がある場合透明保護シールの粘着力が弱まる恐れがあります。

◎取り付け準備



貼付ける場所の汚れや油分等を拭き取り、中性洗剤等で十分脱脂をしてください。※布地や大きな凹凸がある場所、角ばったダッシュボードのコーナー部分など、曲面の小さな場所には取付けできません。



台座パーツの底面に貼付けである両面テープのはくり紙をはがし、お好みの場所へ貼付けてください。

- 両面テープ貼り付け後、24時間程度で固定が安定します。取付け直後のご使用はお控えください。
- 取付け面がポリウレタン製や本革製等の場合、経年劣化により両面テープをはがす際に破損したり両面テープの跡が残る恐れがありますのでご注意ください。
- 運転前にマグネットホルダーが確実に固定されていることを必ずご確認ください。

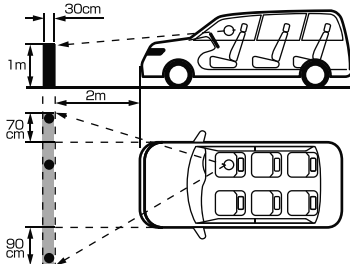
取り付け位置について

国土交通省の定める保安基準に適合させるため、下図のように、運転者の視界を妨げないように本製品を取り付けてください。また、フロントガラス、側面ガラスへの取り付けは、保安基準に不適合となりますので、絶対におやめください。下図は右ハンドル車の例です。左ハンドルの場合、左右逆になります。

前方視界基準

<基準概要>

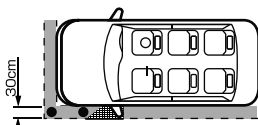
自動車の前方2mにある高さ1m、直径30cmの円柱を鏡等を用いず直接確認できること。



直前直左視界基準

<基準概要>

自動車の前面及び左側面(左ハンドル車にあっては右側面)に接する高さ1m、直径30cmの円柱を鏡等を用いず直接確認できること。



- : 運転視界基準エリア
- : 高さ1m、直径30cmの円柱
- : 適応外エリア
Aヒーター及び室内後写鏡により視界が遮られるエリア